

令和7年度地域福祉活動者向け研修事業業務に関する公募型プロポーザル 質問への回答

No.	質問項目	質問内容	回答
1	—	前回の研修実績として、課題と成功点は。	<p>【課題】 参加者の内訳として市町村職員、地域包括支援センター職員や民生委員・児童委員が多いため、実際に地域福祉活動を行っている方たちをさらに集めるための工夫ができるかと考えています。また、「さりげない見守り、声掛け、話を聞く」「支援につなぐ」という地域福祉活動者に期待される役割を果たすという点で有効となる研修カリキュラムを模索する必要があると考えています。</p> <p>【成功点】 研修後のアンケートにおいて、元ケアラーであるゲストスピーカーの方のお話やグループワークについて「参考になった」という回答が97%を超えており、研修参加の動機で最も多い「自分でできることはどんなことか、参考に知りたかった」という参加者の期待に応える内容の研修が実施できたと考えています。</p>
2	—	前回の周知方法とその課題・成功点は。	<p>【周知方法】 各市町村や地域包括支援センターへは、受託者が作成した案内文を県地域包括ケア課を経由しメールで周知しました。その他、県政記者クラブへの投げ込みや、県や関連団体が所管することもの居場所運営者へ届けられるネットワークがあればその各媒体で周知していただくよう受託者から働き掛けてもらいました。</p> <p>【課題】 質問項目1でもありましたように、実際に地域福祉活動を行っている方たちにより多く参加していただくための工夫が求められます。</p> <p>【成功点】 受託者が積極的に各所に周知を行った点について一定の成果があったと考えています。</p>
3	—	研修後のアンケート項目及び集計回答率は。	<p>【アンケート項目】 ①参加実施回②属性③参加の動機（選択式）④基礎講座はどうだったか。（理解できたか、選択式）またその評価理由（任意回答、記述式）⑤ゲストスピーカーのお話はどうだったか。（参考にになったか、選択式）またその評価理由（任意回答、記述式）⑥個人ワーク、グループワークはどうだったか。（参考にになったか、選択式）またその評価理由（任意回答、記述式）⑦研修を踏まえて、今後やりたいことや心がけたいこと（任意回答、記述式）⑧全体の感想や意見（任意回答、記述式）⑨研修を知ったきっかけ（任意回答、記述式）</p> <p>【集計回答率】 78.5%</p>
4	仕様書 3 業務内容 エ 業務詳細	開催案内の送付方法は。（郵送なのかメールなのか。）	令和6年度はメールで送付しました。
5	仕様書 3 業務内容 ウ 回数・時期等	参加者数の想定は、1回あたり500人なのか、または合計4回で500人（1回あたり125人程度）なのか。	合計4回で500人を想定しております。